

# 震源インバージョンワークショップ

～地震発生物理の包括的理解に向けた手法開発とその実践～

1. 開催日: 2022 年 7 月 5 日 (火)・6 日 (水)

2. 開催場所: 東京大学地震研究所 1 号館 2 階セミナー室 + Zoom 配信 (ハイブリッド開催)

3. 研究集会の概要

地震時の震源過程を推定する震源インバージョン解析に携わる若手研究者が集い、震源インバージョンにまつわる諸問題および解決策について、その最新知見を共有する。テーマを絞って密な議論を行うことで、地震発生物理の理解に資する、より良い震源インバージョン解析手法の構築可能性を模索する。

4. 集会ウェブサイト: <https://rokuwaki.github.io/SIW/>

5. 謝辞: 本研究集会は、東京大学地震研究所共同利用 (2022-W-03) の援助を受けています。

6. 発表タイムテーブル (次ページ)

7. 口頭発表について

発表者は会場に用意した共有コンピュータを使って発表します。共有コンピュータの Zoom 画面共有機能を使って発表画面を共有します。集会のスムーズな進行のため発表ファイル (ファイル形式は pptx or pdf) を事前に世話人までお送り下さい。Zoom 配信内容は配信トラブル等に備えバックアップ用に録画させていただきます。ただし録画した内容は公開せず、オンデマンド配信等も行いません。

8. ポスター発表について

発表方式は自由です。当日はポスターボード (A0 サイズを掲示できる大きさ・縦長) をご用意します。ラップトップ等を使った気軽な発表・議論も OK です。ポスター発表の Zoom 配信は行いません。

9. 新型コロナウイルス感染症対策について

本ワークショップは、東京大学による「イベント開催時の新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」に基づいて開催します。それに伴い、本ワークショップは懇親会の主催をしません。ワークショップ後におけるそれぞれのグループによる懇親会の開催も控えてください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400189398.pdf>

## 1 日目・2022 年 7 月 5 日 (火)

	12:00-12:15	奥脇亮	筑波大	opening
S01	12:15-12:45	三反畑修	防災科研	海底カルデラ火山で繰り返すトラップドア断層破壊の津波・地震波解析 (仮)
S02	12:45-13:15	久保田達矢	防災科研	震源直上津波記録を用いた 2011 年東北沖地震断層モデル：海溝大すべりのメカニズム
	13:15-13:30			休憩
S03	13:30-14:15	深畑幸俊 *	京大防災研	震源過程解析の発展に向けて
S04	14:15-14:45	八木勇治	筑波大	Potency Density Tensor Inversion
	14:45-15:00			休憩
S05	15:00-15:30	野田朱美	気象研	測地データと地震データを用いた 3 次元モーメント密度分布のインバージョン解析
S06	15:30-16:00	伊東優治	ISTerre	High-rate GPS 時系列データを用いた微小なすべりの時空間発展の推定に向けて
P01	16:00-17:30	久保久彦	防災科研	今後の Source Inversion はどこに向かうべきか
P02	16:00-17:30	小林広明	小堀鐸二研	強震・遠地・測地データによる 2021 年と 2022 年福島県沖の地震の震源過程
P03	16:00-17:30	奥脇亮	筑波大	プレート内地震にみる破壊過程の複雑性
P04	16:00-17:30	染井一寛	地盤研	震源インバージョン結果から推定した断層面上の破壊伝播速度の不均質性 (仮)
P05	16:00-17:30	武村俊介	東大地震研	震源インバージョンや CMT 解析などへ 3 次元地下構造の影響の検討
P06	16:00-17:30	山谷里奈	防災科研	茨城沖領域で得られた中小規模地震の CMT 解を用いた詳細な応力場の推定へ
P07	16:00-17:30	縣亮一郎	JAMSTEC	Bayesian physics-informed neural networks を用いた地震波トモグラフィの不確かさ定量化の試み
P08	16:00-17:30	佐藤大祐	京大防災研	フルベイズ推定の縮約と ABIC の単峰性・漸近不偏性：線形インバージョン徹底解剖
P09	16:00-17:30	大谷真紀子	東大地震研	4DVAR を用いた繰り返し SSE のデータ同化実験
P10	16:00-17:30	福田孔達	東大地震研	連続時間ランダムウォークを用いた微視的確率過程からの表現定理導出

## 2 日目・2022 年 7 月 6 日 (水)

S07	09:30-10:15	加藤愛太郎 *	東大地震研	地震発生物理の理解に向けて～震源インバージョンへの期待
S08	10:15-10:45	倉田澄人	東大	構造変化検出の為にスパース正則化を用いた地震波速度トモグラフィ
	10:45-11:00			休憩
S09	11:00-11:30	長坂ヨウスケ	港湾研	経験的グリーン関数を用いた強震動のインバージョンについて
S10	11:30-12:00	柴田律也	東工大	経験的グリーン関数を用いた滑り方向も推定可能な震源インバージョン手法の開発
	12:00-13:10			休憩
S11	13:10-13:40	平野史朗	立命館大	震源時間関数のモデル化: 特性化関数か確率過程か
S12	13:40-14:10	吉田圭佑	東北大	2015 年宮城沖の Mw6.8 の地震：繰り返し地震の運動破壊
	14:10-14:30	奥脇亮	筑波大	open discussion & closing

S: 口頭発表、P: ポスター発表、\*: 招待講演

タイムテーブルは変更する可能性があります。最新版は集会ウェブサイト <https://rokuwaki.github.io/SIW/> をご参照ください。